

ボディハグシャワー システムバスルーム後付け仕様・ システムバスルーム同時取付仕様・ 在来浴室（タイル壁）仕様共通

【NYSA-1-R/FW1】・【NYSA-1-L/FW1】
【NYSA-1-R/N11】・【NYSA-1-L/N11】

取付説明書

取付店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

注意

本体に同梱されている取扱説明書は、お客さまに製品を正しく使用していただくための重要な書類です。
取付け完了後、お客さまの手元へ届くように取付責任者に依頼またはお渡しください。

取付前の注意

- 取付前に「ボディハグシャワー（後付け仕様）事前チェックシート」（別紙）にて必ず設置可否の判定を行ってください。
※システムバスルーム同時取付仕様の場合は必要ありません。
- 取付けに際しては、必ずこの取付説明書に従い正しく取り付けてください。

取付作業にあたっての注意

- 作業は手袋着用の上行ってください。金属部品等の端部は取扱いにご注意ください。
- ボディハグシャワー外装部材は可燃物です。タバコの火、バーナー等の火気に気をつけてください。

■もくじ

1. 商品構成について	P.2
2. 各部の名称と特徴	P.2
3. 部材梱包明細表	P.3
4. 必要工具	P.5
5. 取付位置の確認	P.7
6. 取付方法	P.9
7. 取付後の点検	P.23

安全上のご注意（必ずお守りください）

ここでは取付けに際して守らないと人身事故や、家財の損害に結び付く注意事項をあげています。取付前にこの項目をよくお読みいただき、正しく取り付けてください。

表示マークおよび絵表示の説明

◎表示マークについて

表示内容を見逃して誤った工事をしたときに生じる、危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」



注意

「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

◎絵表示について

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）



「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）



「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）



「分解してはいけません！」（分解禁止の記号です。）

ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結び付くものです。

安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

当社指定の修理技術者以外の人には絶対に分解したり修理、改造は行わないでください。

※機器の発火や異常動作でケガをする恐れがあります。



注意

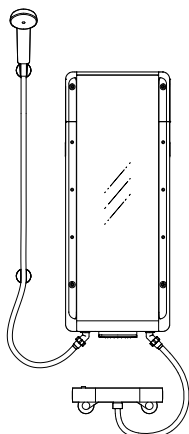
構成部材は指定位置に、指示したねじ等で確実に取り付けてください。

※使用中に落下したり外れたりして、ケガをする恐れがあります。



1. 商品構成について

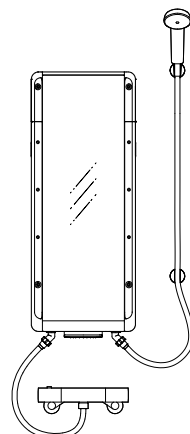
●水栓接続ホース接続方向により、手配品番が異なりますのでご注意ください。



■水栓とつながるホースが商品の右側に接続される場合
【品番】

白：NYSA-1-R/FW1

黒：NYSA-1-R/N11



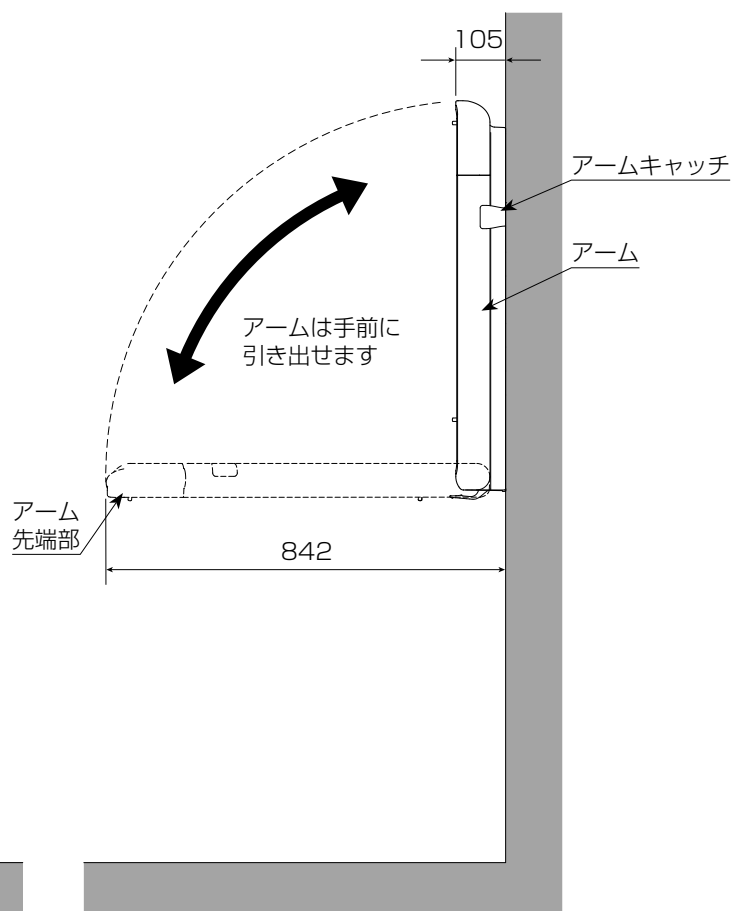
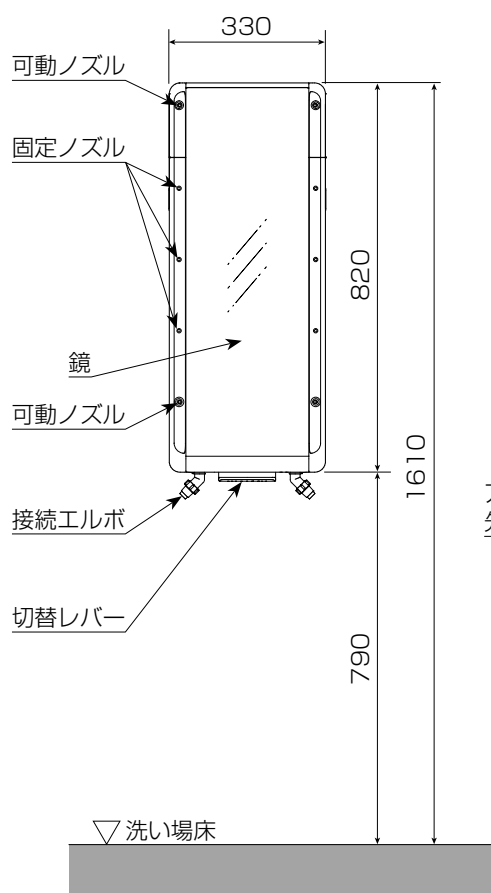
■水栓とつながるホースが商品の左側に接続される場合
【品番】

白：NYSA-1-L/FW1

黒：NYSA-1-L/N11

2. 各部の名称と特徴

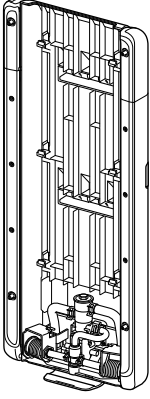
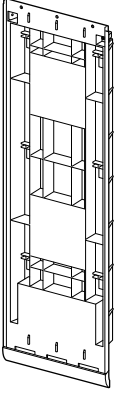
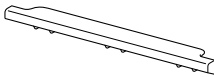
- アームは回転軸を中心に手前方向に引き出す事ができます。(左右独立)
- 可動ノズルは、噴射方向を調整することができます。
- アーム先端部は回動させることが可能です。

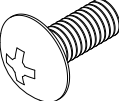
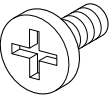
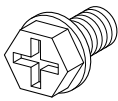
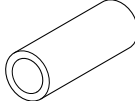


3. 部品梱包明細表

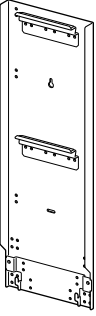
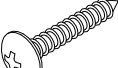
梱包を開き、部材の有無・員数を確認してください。

■ボディハグシャワー本体：(ホワイト) NYSA-1-R(L)/FW1
(ブラック) NYSA-1-R(L)/N11

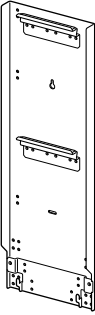
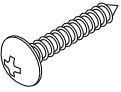
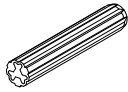
名称	本体	鏡フレーム	鏡フレーム 上部カバー	取扱説明書
形状				
数量	1	1	1	1

名称	トラス小ねじ (M4X8)	低頭ねじ (M4X8)	アプセットボルト (M5X10)	シリコンチューブ
形状				
	※鏡フレーム上部カバー 固定用	※鏡フレーム固定用	※本体固定用	※アプセットボルト取付 補助部材
数量	3	2	2	1

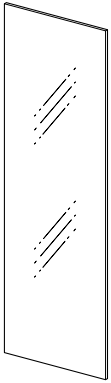
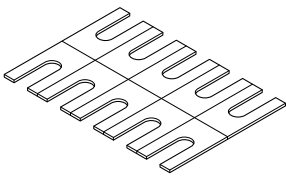
■バックハンガー 【システムバスルーム（後付け・同時取付）仕様の場合】 :NYSA-BH-1-SET-A

名称	バックハンガー	トラスとがり先ねじ (4X10)	トラスタッピンねじ (4X25)	釘	取付説明書
形状					
		※バックハンガー 固定用	※システムバスルー ム同時取付の場合 のみ使用	※下穴（ポンチ） 加工用	
数量	1	32	2	1	1

■バックハンガー【在来浴室（タイル壁）仕様の場合】:NYSA-BH-1-SET-B

名称	バックハンガー	トラスタッピンねじ (4X25)	カールプラグ (φ 6.5X35)	取付説明書
形状		 ※バックハンガー固定用	 ※下穴径φ 6 用	
数量	1	20	25	1

■鏡:KGM-2579S

名称	鏡	調整用スペーサー	使用方法ラベル
形状			
数量	1	1	1

■接続ホースセット

<メタル調>

L=400:A-11239-4-PU

L=600:A-11239-6-PU

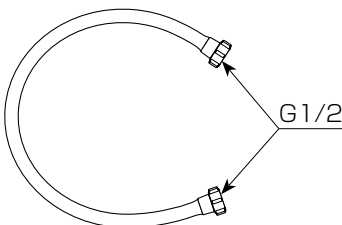
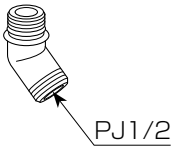
L=1000:A-11239-10-PU

L=1600:A-11239-16-PU

<ブラック>

L=400:A-11240-4-PU

L=600:A-11240-6-PU

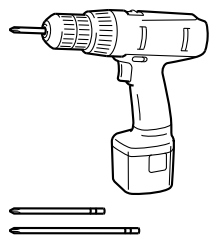
名称	接続ホース	接続エルボ
形状	 ※仕様により長さが異なります	
数量	1	2

■変換アダプター（他社水栓変換用）

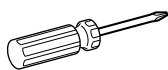
※後付け仕様で他社水栓に接続する場合のみ

品番	詳細
34-386	TOTO 製用接続アダプター (大口径) 接続ねじ: W24 山 20
34-387	TOTO 製用接続アダプター (小口径) 接続ねじ: W19 山 24
34-388	KVK 製用接続アダプター 接続ねじ: M22 × 2

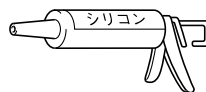
4. 必要工具



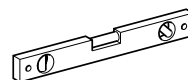
電動ドライバー
ドライバービット（# 2）



+ドライバー（# 2）
-ドライバー



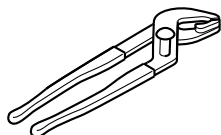
シーリングガン



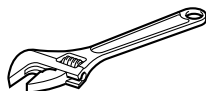
水平器

電動ドリル刃（φ 6）
磁器タイル用超硬ドリル
（φ 6・φ 4.5）
※在来浴室（タイル壁）の場
合

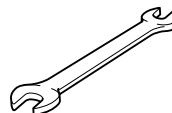
インパクトドライバー使用禁止



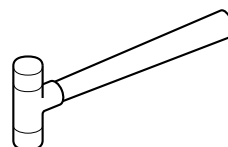
ウォーターポンプ
プライヤー



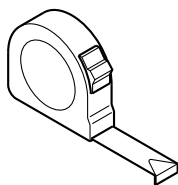
モンキーレンチ



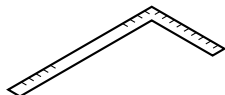
スパナ
（対辺 23・24mm 用）



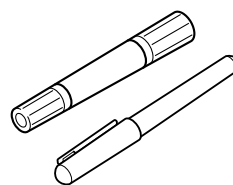
プラスチック
ハンマー



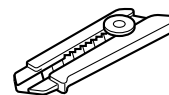
スケール



曲尺



油性ペン



カッター



掃除道具
中性洗剤
ウエス等

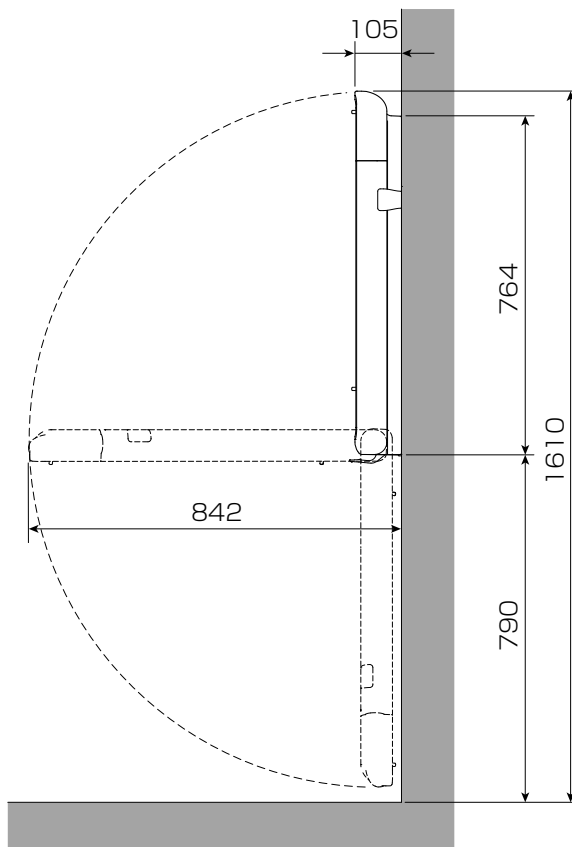
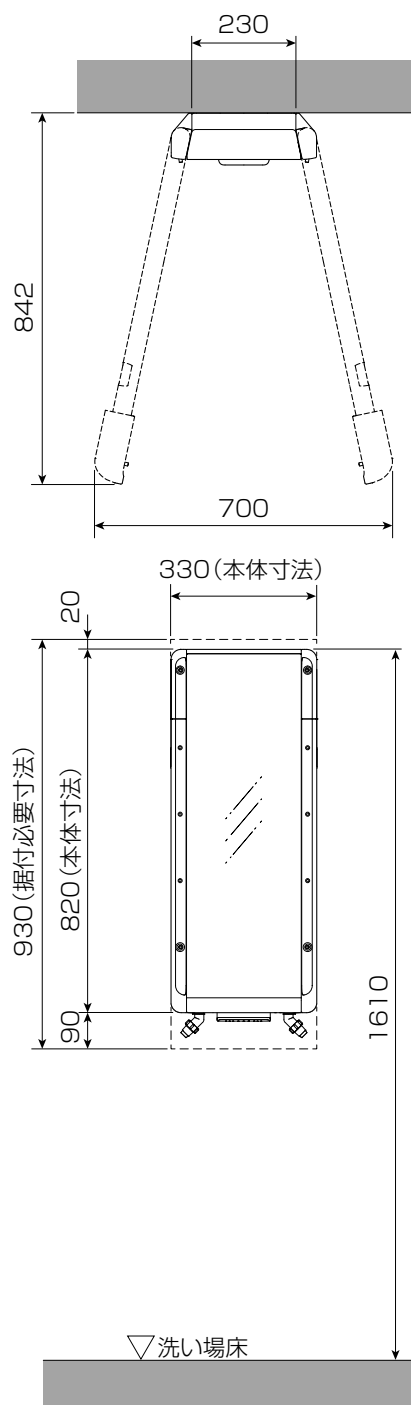


養生テープ

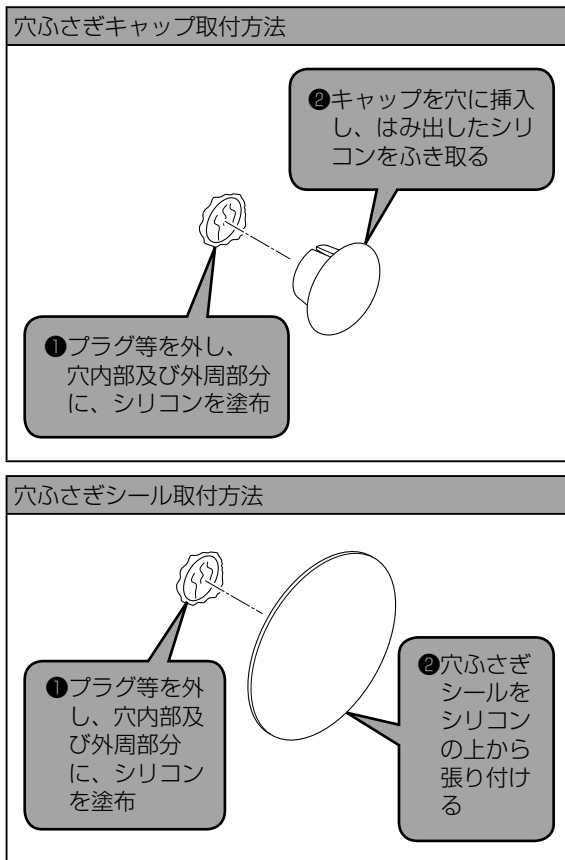
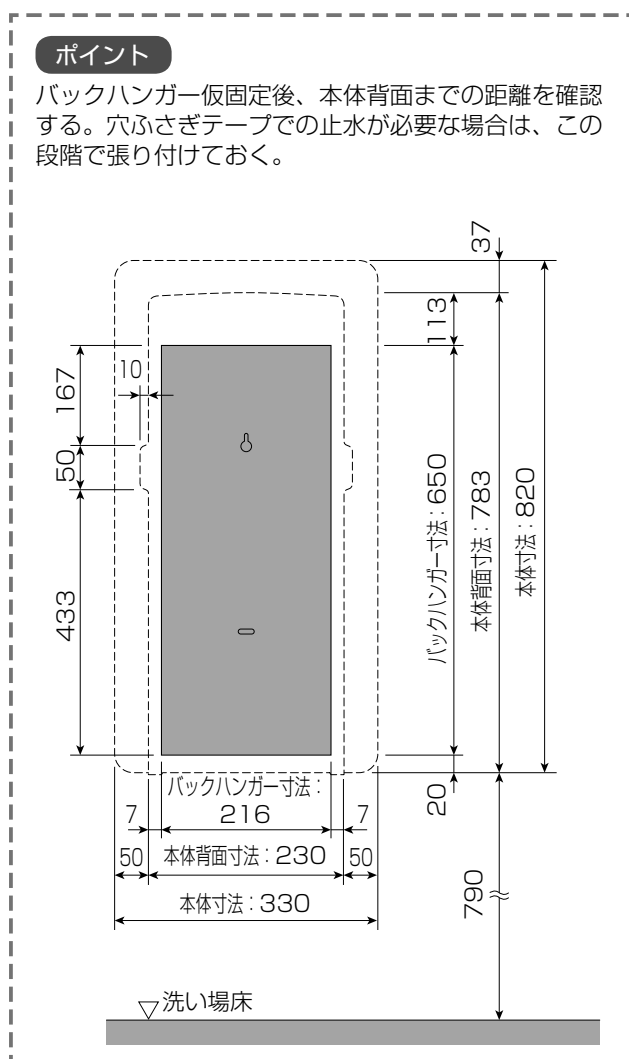
MEMO

5. 取付位置の確認 (システムバスルーム後付け仕様・在来浴室（タイル壁）仕様の場合)

- ボディハグシャワーを設置するため、上方向に 20mm（本体取り付け時のスライド）、下方向に 90mm（接続ホース取り回し）のスペースを確保する必要があります。
左右方向については、既存アイテムと十分な控え寸法が確保できることを、事前チェックシートと合わせ確認してください。
- アームは開動により広がり、最大 700mm まで広がります。
壁面・ドア・既存アイテムと干渉しない位置に設置位置を調整してください。



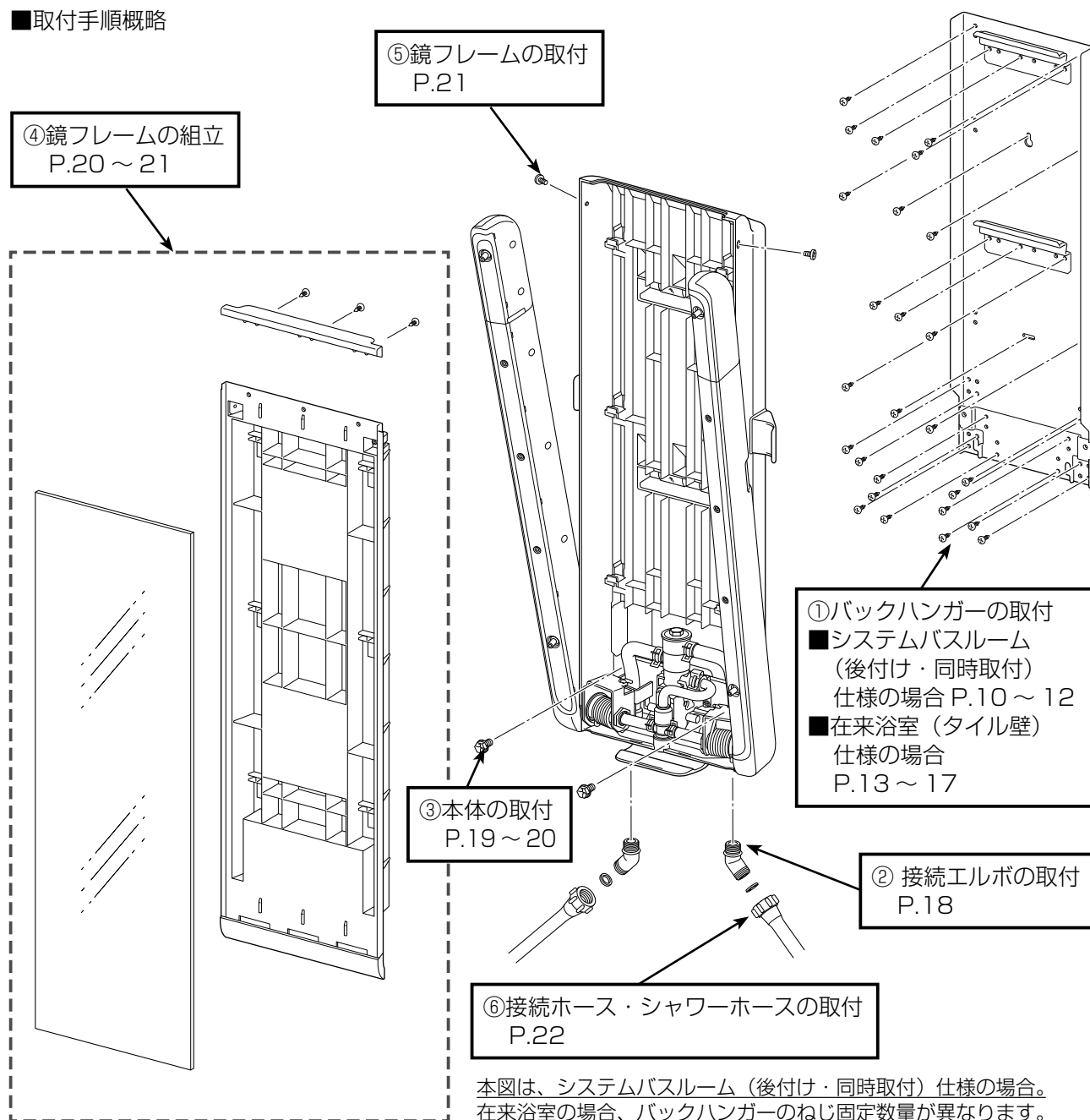
- 干渉アイテム取り外しにより穴が残った部分は、穴ふさぎキャップを取り付けてください。
ボディハグシャワー本体裏面に隠れる部分や、穴ふさぎキャップと本体が干渉する場合は、穴ふさぎシールで対応してください。



- 器具を取り外した際に残った、シリコンやミラーマットは除去してください。
また、鏡裏の汚れも清掃してください。
- 在来浴室（タイル壁）の場合、バックハンガー取付ねじ部に給水給湯管が無いことを確認してください。
固定用ねじで配管を傷つける危険があります。（ねじ固定位置はP.14を参照ください。）

6. 取付方法

■取付手順概略



ボディハグシャワー取付方法を動画でチェック！

二次元バーコードに端末のカメラをかざすと、LIXIL のサイトに接続して動画を見ることができます。

※通信料はお客様のご負担となります。

※携帯電話の機種によっては、動画を再生できない場合がございます。

あらかじめご了承ください。

使い方



動画はこちら！

はじめに（バックハンガー取付方法）

※システムバスルーム（後付け・同時取付）仕様の場合

ボディハグシャワーのバックハンガーは、とがり先ねじを使用して鋼板パネルに直接固定します。
以下作業指示に従い取付を行ってください。

■取付穴について

近接する 2 連穴の一方を使用して固定する。

※推奨位置は P.12 参照

システムバスルーム後付け仕様の場合

推奨位置が既存穴と干渉する場合は、
干渉しない側の下穴を使用する。

【ネジが空転した場合】

- ・残りの穴を使用して固定する。
 - ・両方とも空転した場合は、2 連穴付近の固定可能な位置に、下穴を開けて固定する。
- ※空転した部分はねじを外し、シリコンを充てんし
止水処理を行うこと。

■下穴（ボンチ）加工について

バックハンガー同梱の釘を鋼板パネルに打ち込み、
ねじ固定用の下穴を開ける。

※先端傾斜部を 2/3 程度打ち込む。

■ねじ固定について

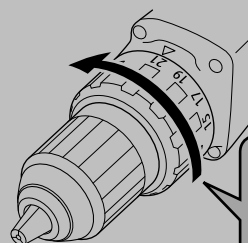
バックハンガー及び下穴部分に、シリコンをしっかり
充てんし、とがり先ねじで固定する。

システムバスルーム後付け仕様の場合

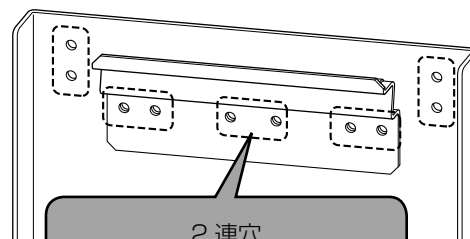
+ドライバーを使用して、手締めする。

システムバスルーム同時取付の場合

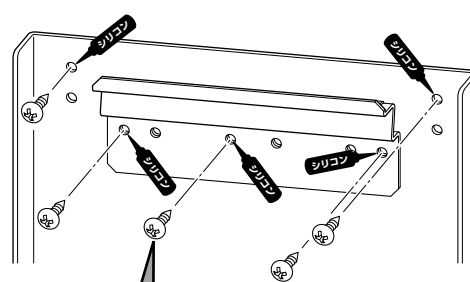
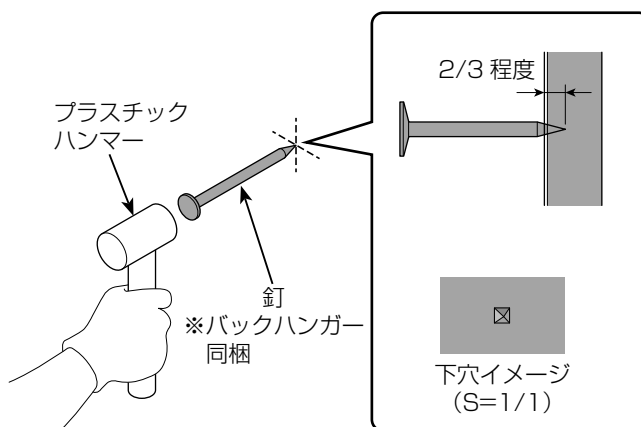
- ・インパクトドライバーは使用しないこと。
 - ・電動ドライバーを使用する場合は、ダイヤルリングを回し、トルクを調整して固定する。
- ※打ち込みに必要な最低限のトルクに調整しておく
と、着座時ねじが空転しにくくなる。



鋼板パネル打ち込みに
必要な最低限のトルク
に調整する



2 連穴
※どちらか一方を固定する



最後は
手締め

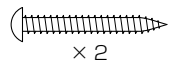
注意！

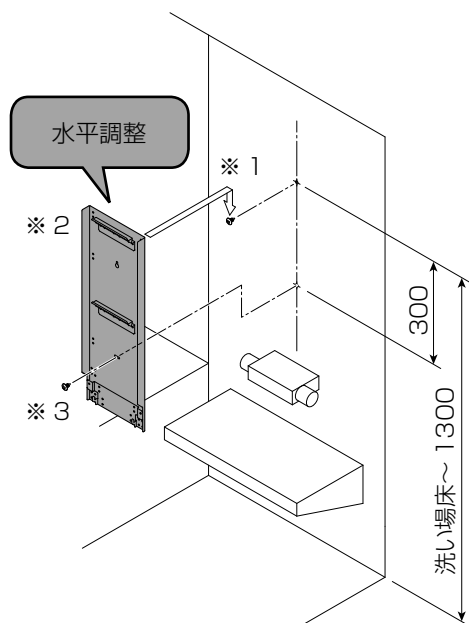
ねじは着座後、1/2 回転以上締め込まない
※鋼板が破損する恐れがある

1 バックハンガーの取付

システムバスルーム（後付・同時取付）仕様の場合

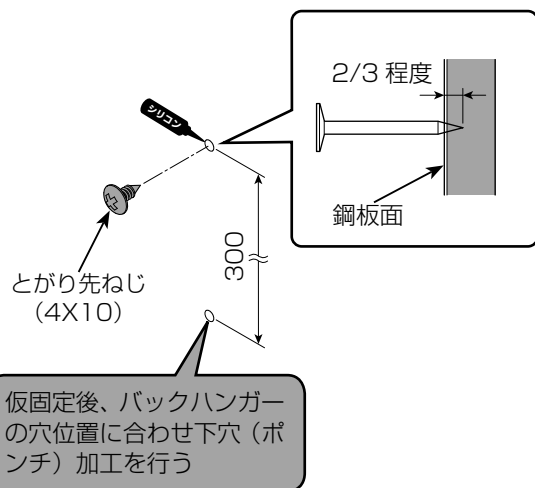
①バックハンガーを仮固定する

システムバス 後付け用	 × 2	トラス とがり先ねじ	4 × 10
システムバス 同時取付用	 × 2	トラス タッピンねじ	4 × 25



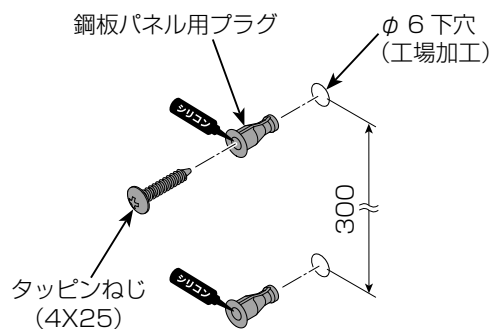
※ 1

システムバスルーム後付け仕様の場合

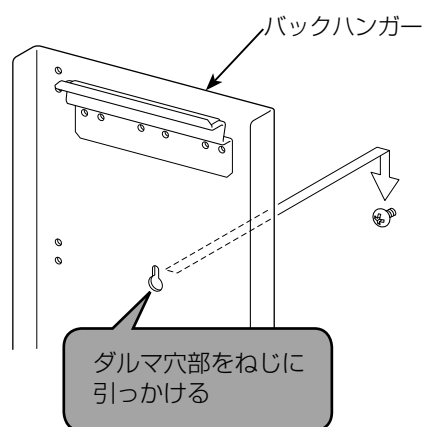


※ 1

システムバスルーム同時取付の場合

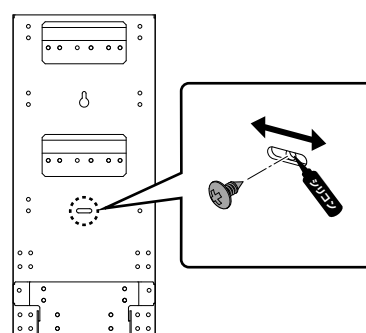


※ 2



※ 3

長穴部分にねじを打ち込み、水平調整を行う。
調整後、ダルマ穴部を固定する



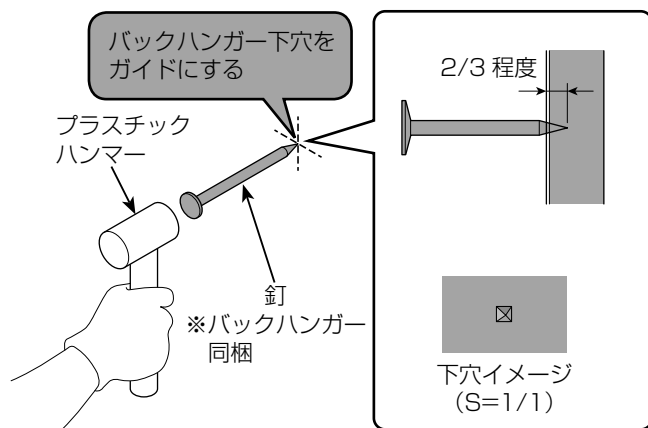
※ねじ固定の際、バックハンガーが左右に動いてしま
う場合は、ねじ固定後バックハンガー側面をプラス
チックハンマーで軽くたたきながら位置を調整する。

チェック

システムバスルーム後付け仕様の場合

バックハンガー仮固定後、バックハンガーを基準に既存穴
までの寸法を確認し、必要に応じ穴ふさぎテープ等で止水
処理を行うこと。（P.8 参照）

②固定位置の下穴（ポンチ）加工をする（24 ヲ所）

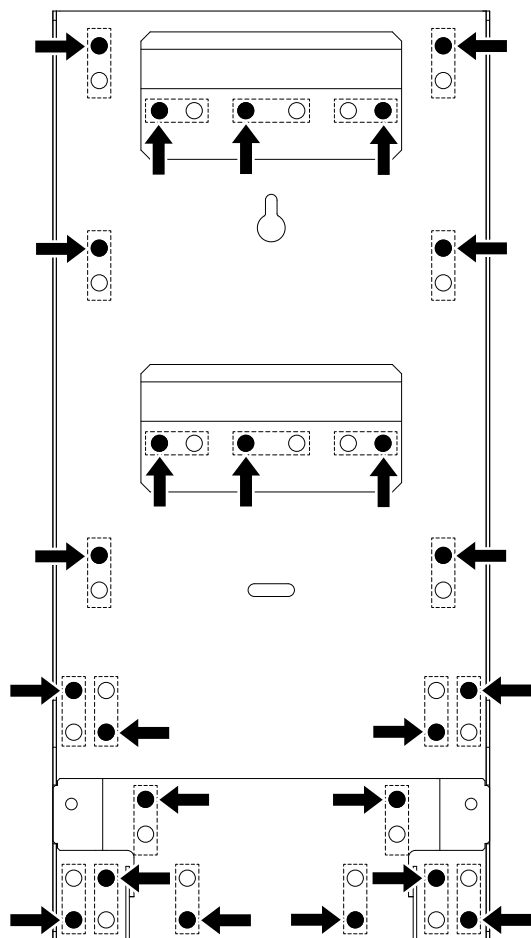


重要ポイント

必ず指定本数取り付けること。
本数が足りない場合、取付に必要な強度が確保できなくなります。

チェック

- 破線で囲まれた 2 連穴の内、どちらか 1 カ所を固定する。
- → 部は推奨位置。既存穴と干渉する場合などは、もう一方の下穴を使用する。
- ねじ固定部は、油性ペンでマーキングしておく。



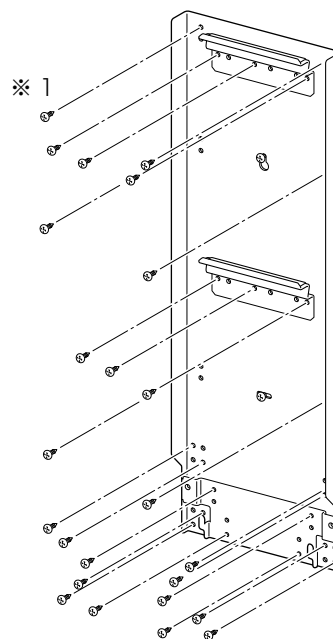
③バックハンガーを取り付ける

システムバス 後付け・
同時取付共通

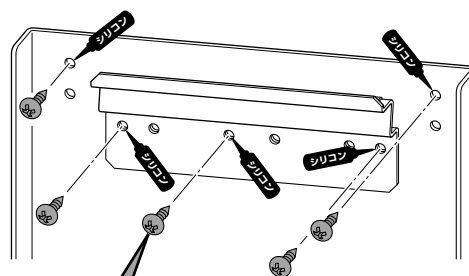
× 24

トラス
とがり先ねじ

4 × 10



※ 1



最後は
手締め

注意！
ねじは着座後、1/2 回転以上
締め込まない
※鋼板が破損する恐れがある

はじめに（バックハンガー取付方法） ※在来浴室（タイル壁）仕様の場合

ボディハグシャワーのバックハンガーは、カールプラグにタッピンねじを打ち込み固定します。
以下作業指示に従い取付を行ってください。

■取付穴について

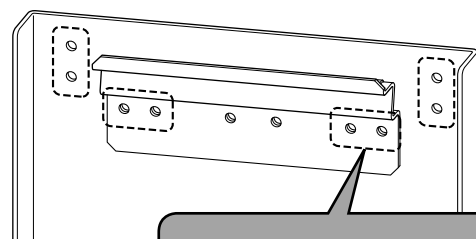
近接する2連穴もしくは4連穴のいずれか1カ所を使用して固定する。

※推奨位置は P.16 参照

推奨位置が既存穴と干渉する場合や、目地と近接する場合は、干渉しない側の穴を使用して固定する。

【ネジが空転した場合】

プラグを交換して取り付ける。



2連穴
※どちらか一方を固定する

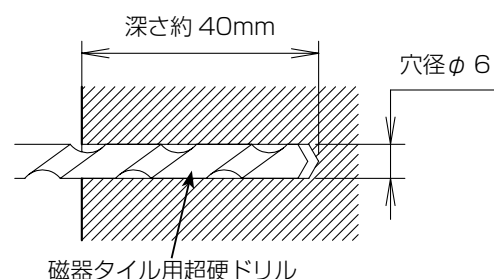
■下穴加工について

バックハンガーを基準位置に仮固定し、穴開け位置をマーキング後に穴加工を行う。

⚠ 注意

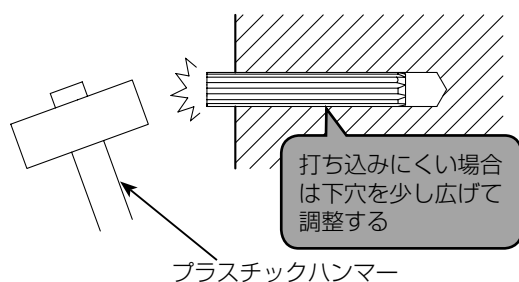
穴加工部の裏に、給水 / 給湯管が無いことを確認すること。

※ドリルで配管を破損させ、壁裏漏水等の重大な結果を招く恐れがあります。（下穴加工位置は P.14 参照）

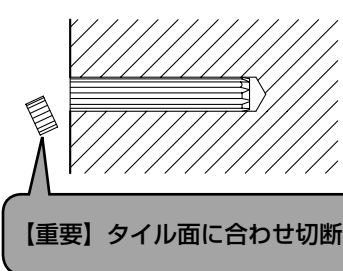


■プラグの取付手順

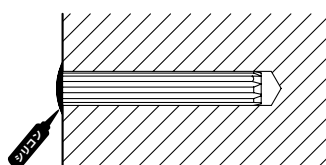
①プラグを打ち込む



②飛び出す場合は、ニッパー等で切断する



③プラグにシリコンを充てんする

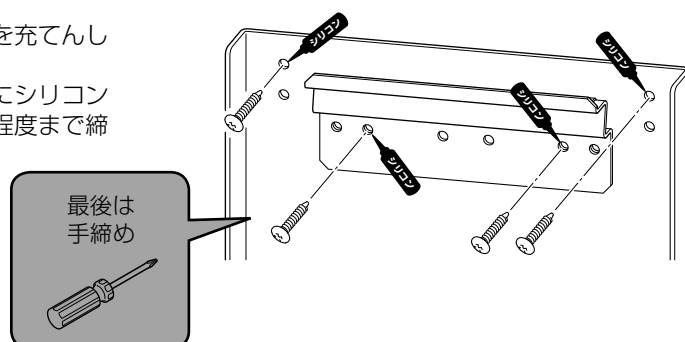


■ねじ固定について

バックハンガーの下穴及びプラグ内部に、シリコンを充てんし固定する。

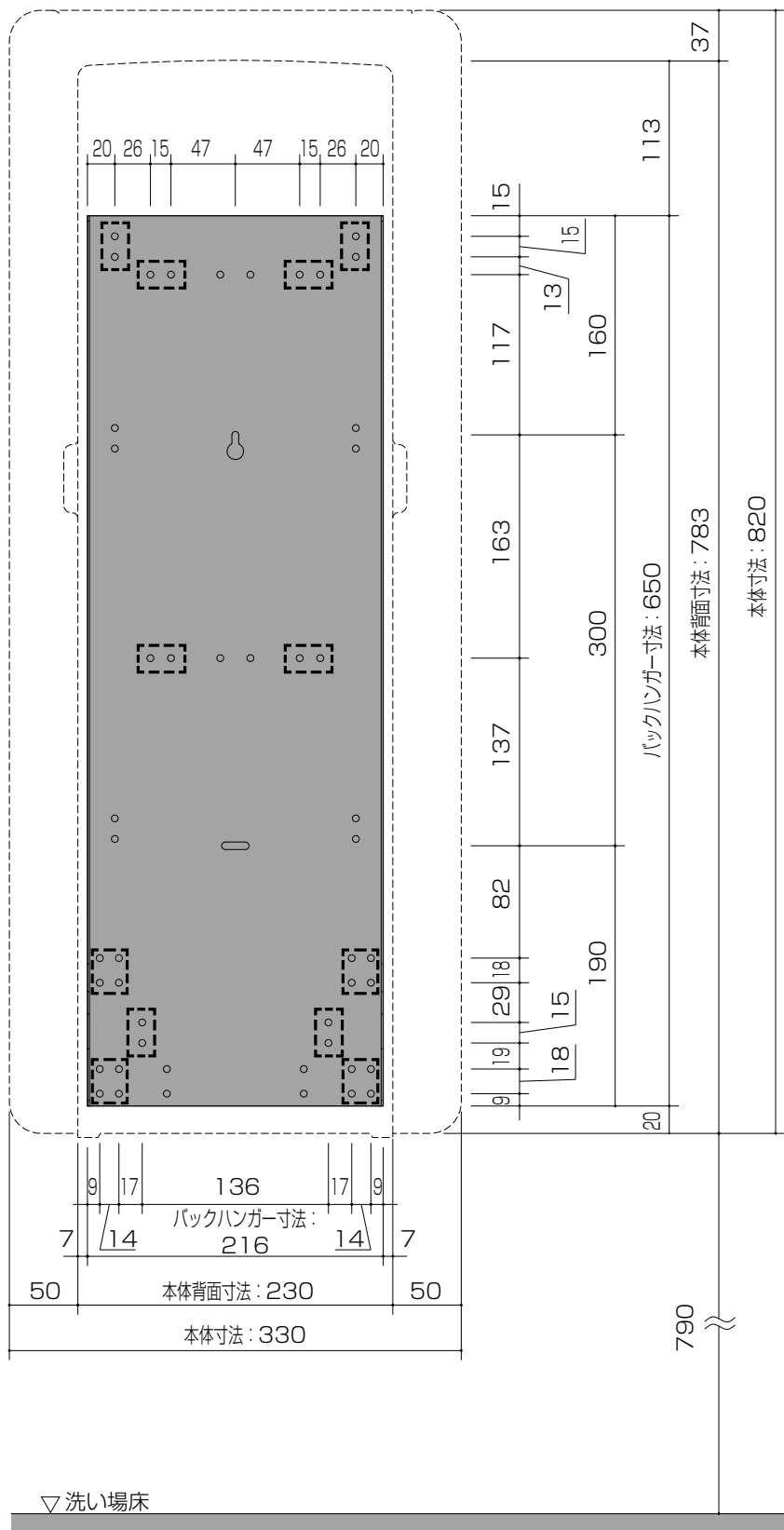
※取付部に、面段差や反りがある場合は、隙間部分にシリコンを団子状に塗布し、バックハンガーが変形しない程度まで締めこむ。

（P.17 参照）



■ねじ固定位置

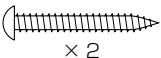
1. 破線指定部の、2 連穴もしくは 4 連穴のいずれか 1 カ所を使用して固定してください。
※ダルマ穴・長穴を除く、破線囲みがない部分の下穴は、在来浴室用では使用しません。
2. ドリルで壁に開口するときは、事前に給水／給湯配管の位置を必ず確認してください。
ドリルで配管を破損させ、壁裏漏水等の重大な結果を招く恐れがあります。
3. 穴開口する際は、ドリル本体と壁面が当たらないようにしてください。タイルが破損する恐れがあります。
4. 穴加工に振動ドリルを使用する場合、タイル割れ・目地割れの危険がありますので、注意しながら穴加工を行ってください。

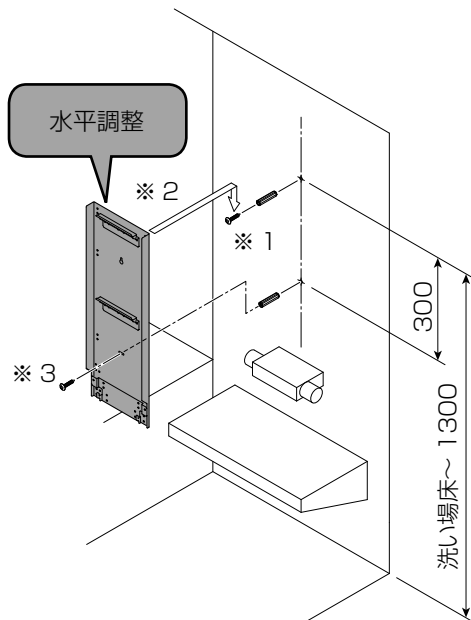


1 バックハンガーの取付

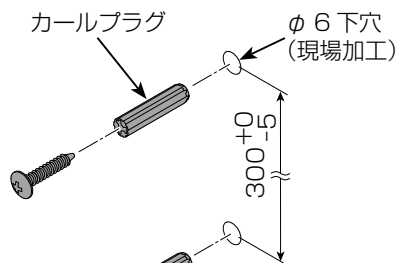
在来浴室（タイル壁）仕様の場合

①バックハンガーを仮固定する

 × 2	トラス タッピンねじ	4 × 25
---	---------------	--------

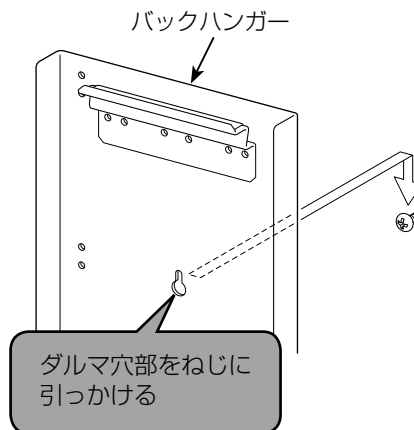


※ 1



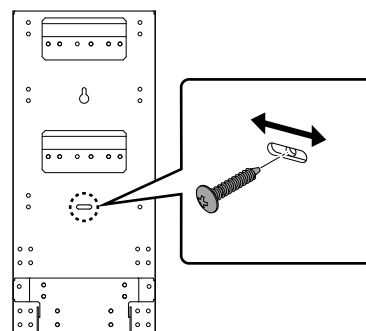
下穴加工で取り外すため、この段階ではシリコン不要。
※本固定のタイミングで、プラグにシリコンを充てんして取り付ける。

※ 2



※ 3

長穴部分にねじを打ち込み、水平調整を行う。
調整後、ダルマ穴部を固定する



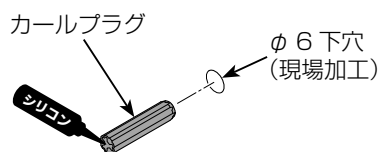
※ねじ固定の際、バックハンガーが左右に動いてしまう場合は、ねじ固定後バックハンガー側面をプラスチックハンマーで軽くたたきながら位置を調整する。

チェック

後付け仕様の場合

バックハンガー仮固定後、バックハンガーを基準に既存穴までの寸法を確認し、必要に応じ穴ふさぎテープ等で止水処理を行うこと。（P.8 参照）

- ②固定位置の下穴加工をする（12カ所）
 ※ダルマ穴部・長穴部についても、このタイミングでプラグにシリコンを塗布しておく。

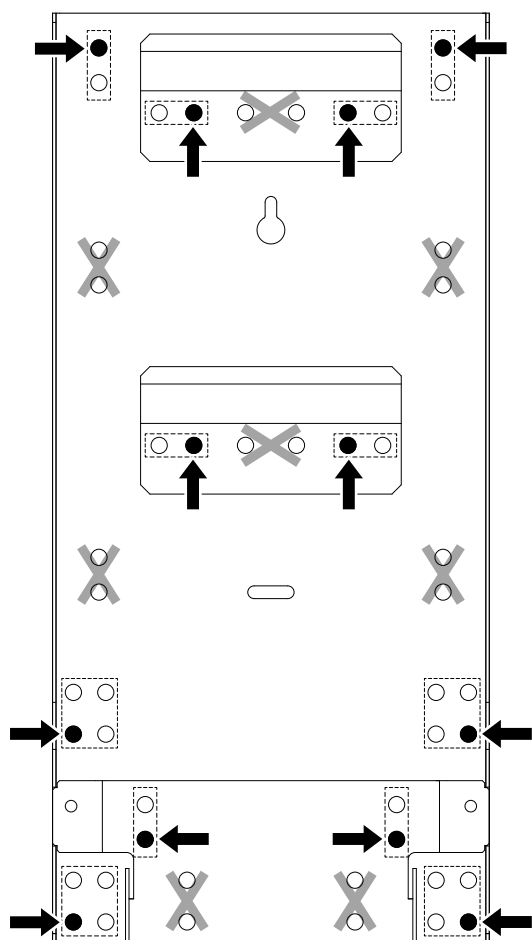


重要ポイント

必ず指定本数取り付けること。
 本数が足りない場合、取付に必要な強度が確保できなくなります。

チェック

- 破線で囲まれた2連穴もしくは4連穴の内、いずれか1カ所を固定する。
- ➡部は推奨位置。既存穴と干渉する場合や、目地と近接する場合は他の下穴を使用する。
- ✕部の下穴は、在来浴室では使用しない。
- ねじ固定部は、油性ペンでマーキングしておく。



ポイント

以下手順で穴加工を行うと、穴位置がズレにくくなる。

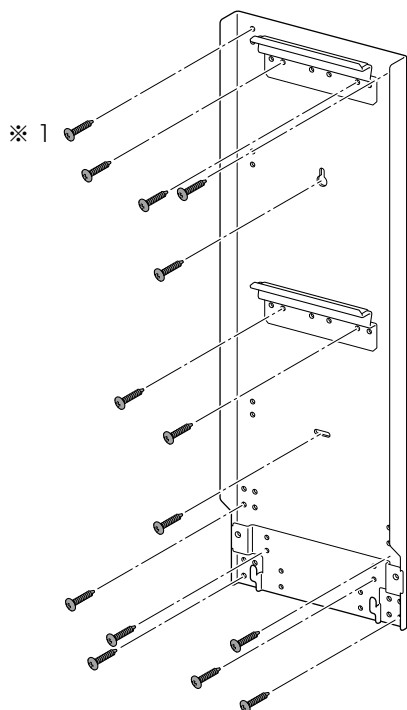
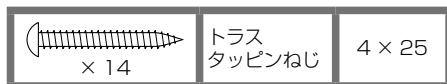
- ①バックハンガーを取り付けた状態で、φ4.5のタイル用超硬ドリルでタイル面に下穴加工を行う。
 ※下穴が穴加工のガイドとなり、ドリルが滑らず正確な位置に穴加工が可能となる。



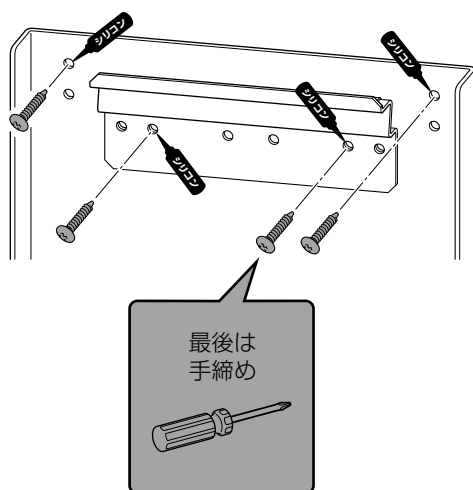
- ②バックハンガーを外し、先ほど開けた穴を基準に、φ6のタイル用超硬ドリルで穴加工を行う。（加工深さ：約40mm）



③バックハンガーを取り付ける

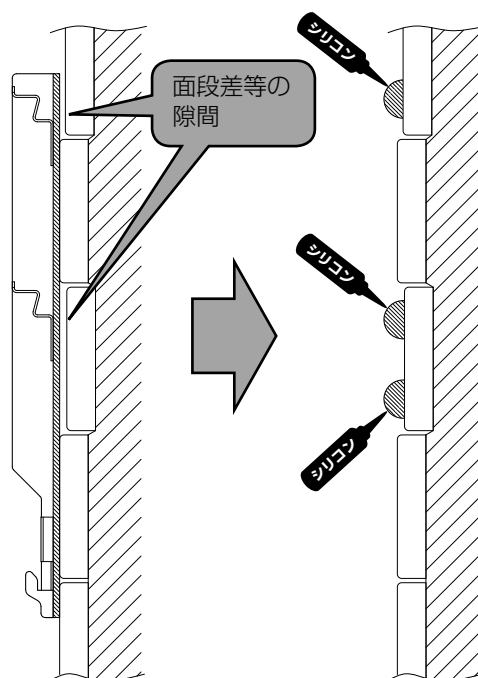


※ 1



バックハンガー取付部に面段差や反りがある場合

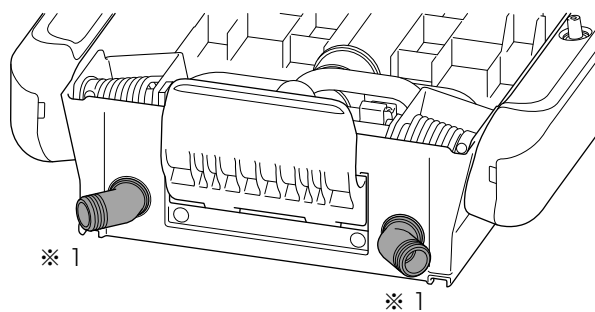
①タイルの面段差や取付面の反り等で、バックハンガーと壁面に隙間が発生する部分には、隙間を埋めるように、シリコンを団子状に盛り付ける。



②バックハンガーを仮掛けし、団子状に塗布したシリコンが潰れるように揉みこみながら押さえる。

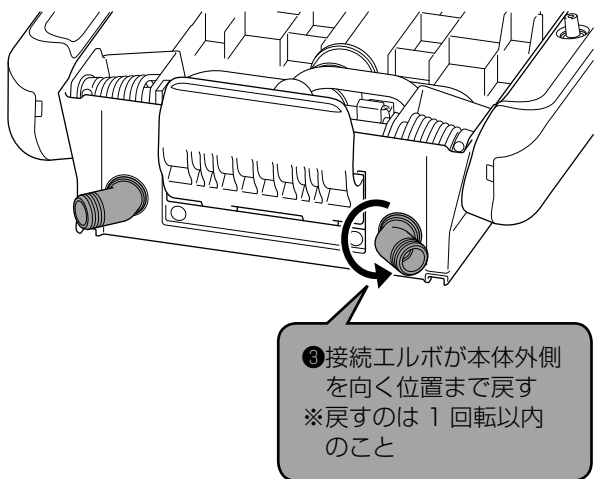
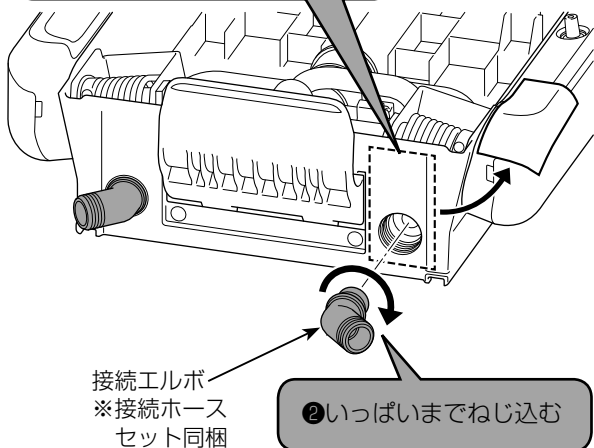
③隙間が発生する付近のねじの締め付けは、バックハンガーが変形しない程度までとする。
※無理に締めこむとバックハンガーが変形し、本体が取り付けられなくなる。

2 接続エルボの取付



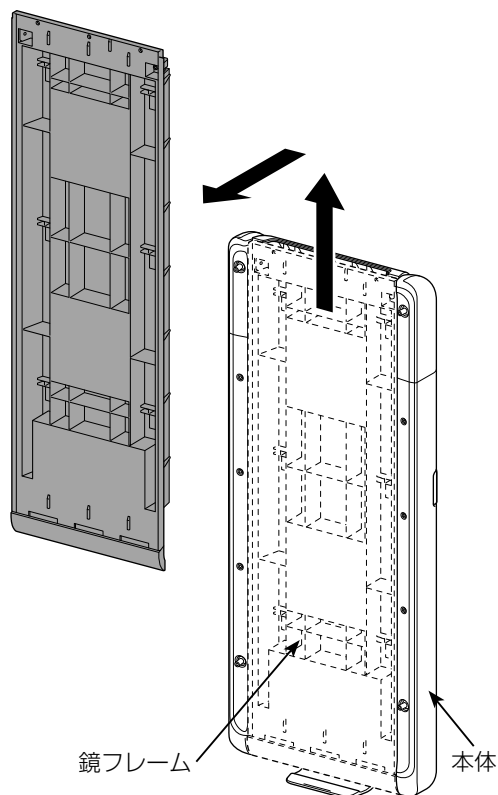
※ 1

- ① ラベルをはがし、アーム下側に張り付けておく
- ※ シャワーホース・接続ホース
接続時の取付間違い防止
- ※ ラベルの剥がし残りなきこと



チェック

本体と鏡フレームは、勘合された状態で梱包されています。
本体取付前に鏡フレームを上側にスライドさせ、取り外してください。

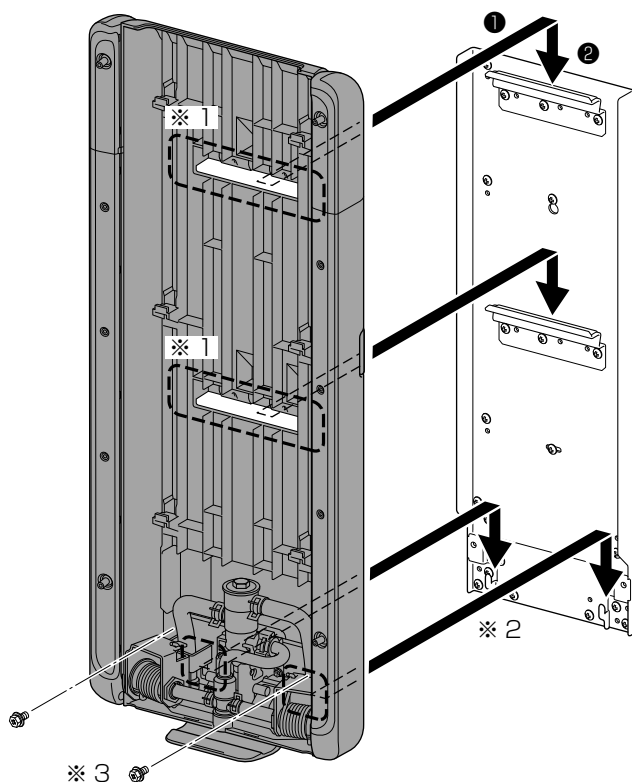


3 本体の取付



× 2
アブセットボルト
(座金組み込み)

M5 × 10



⚠ 注意

勘合させる際、アーム部分を持って勘合させないこと。
アームを開き、本体上部両端に手を掛け下に押し下げる。

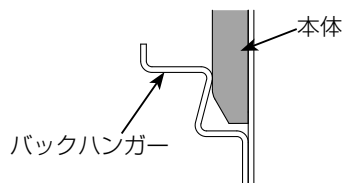


アーム部

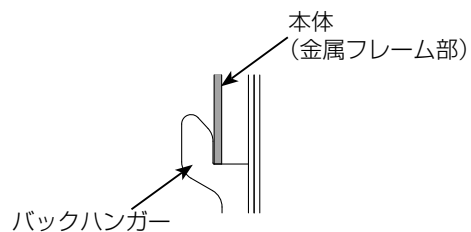


本体上面

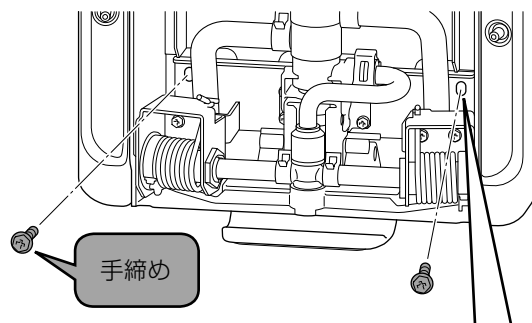
※ 1



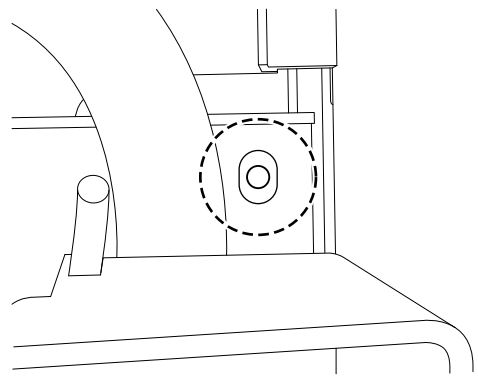
※ 2



※ 3

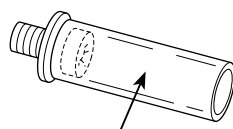


適切に勘合されていることを確認するため、
固定穴が長穴の中央にあることを確認する。

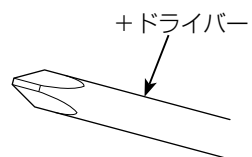


ポイント

本体付属のシリコンチューブをねじ頭部に挿入し、
+ドライバーを差し込んで固定する。
(ねじの落下防止)

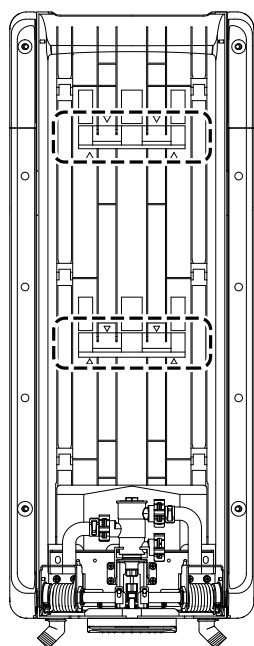


シリコンチューブ
(本体同梱)



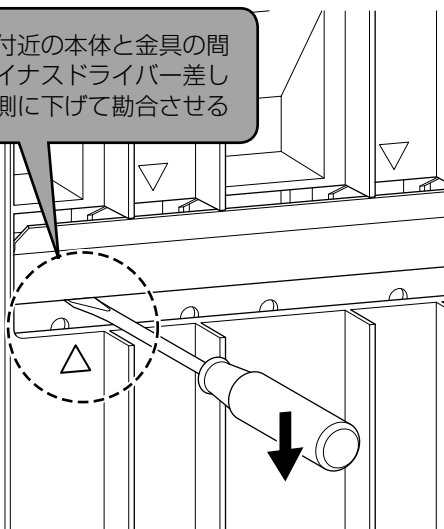
チェック

本体とバックハンガーの
吻合がきつい場合



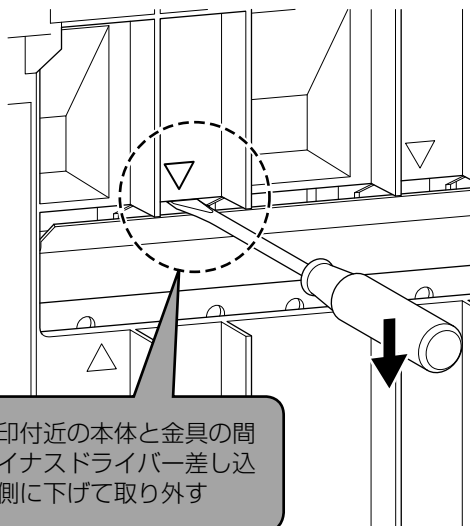
取り付ける場合

△刻印付近の本体と金具の間に、マイナスドライバー差し込み下側に下げて吻合させる



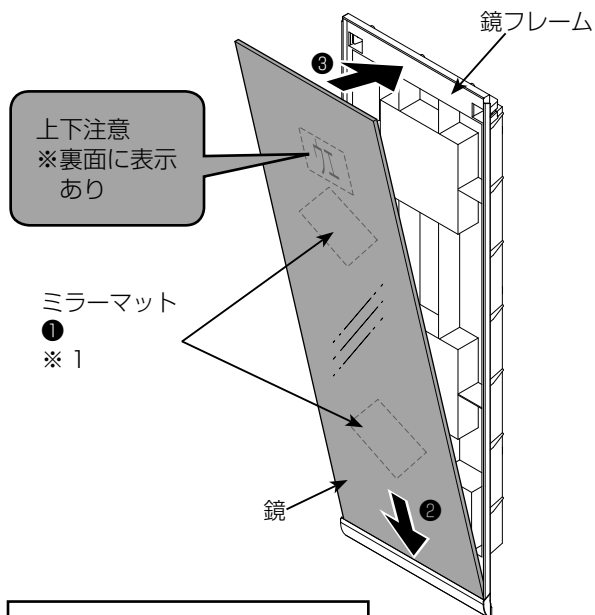
取り外す場合

▽刻印付近の本体と金具の間にマイナスドライバー差し込み下側に下げて取り外す



4 鏡フレームの組立

①ミラーを鏡フレームに張り付ける



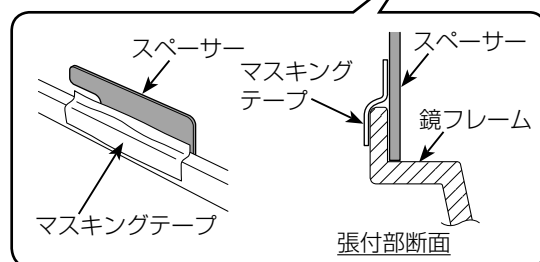
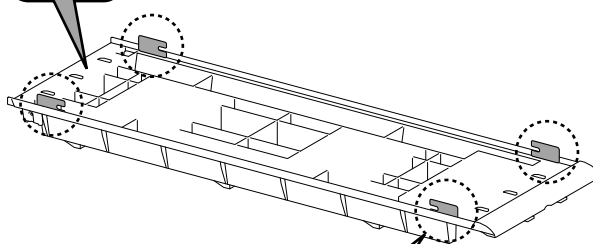
※ 1 ミラーマットのはく離紙をはがす



チェック

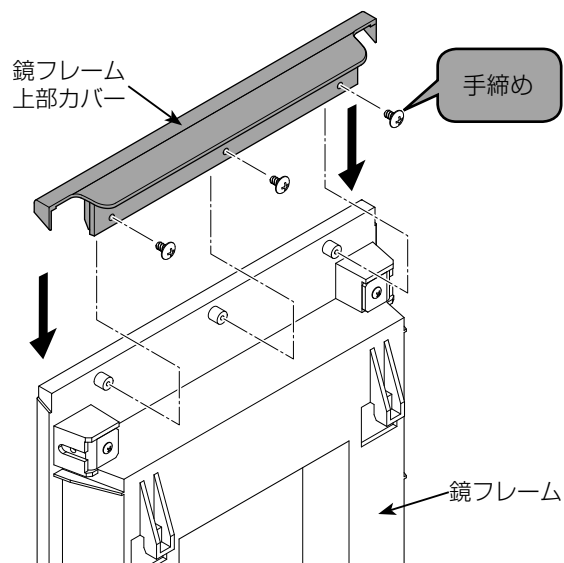
鏡とフレームのすき間を左右均等にするため、付属スペーサーを、鏡フレームの上下左右4カ所に各1枚マスキングテープで仮固定し、鏡を張り付ける。

上側



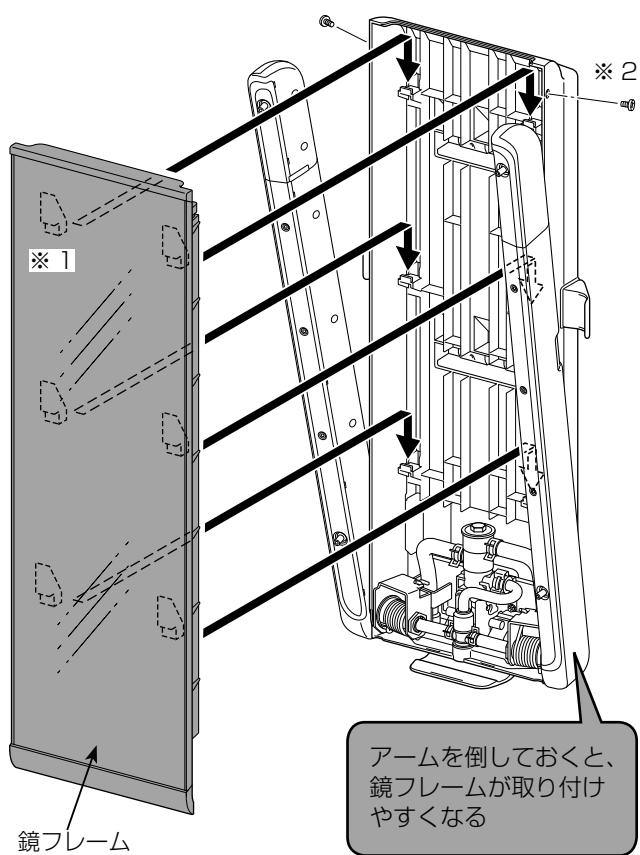
②鏡フレーム上部カバーを取り付ける

 × 3	トラス小ねじ	M4 × 8
---	--------	--------

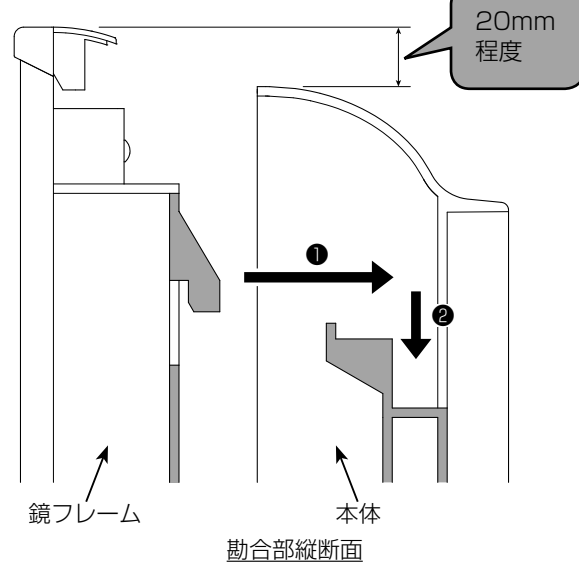


5 鏡フレームの取付

 × 2	低頭小ねじ	M4 × 8
--	-------	--------

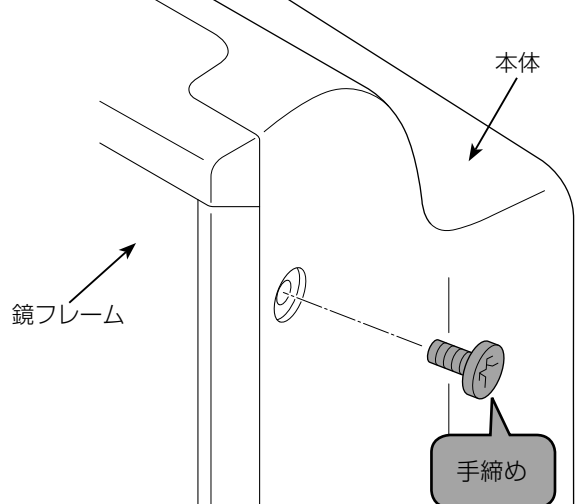


※1



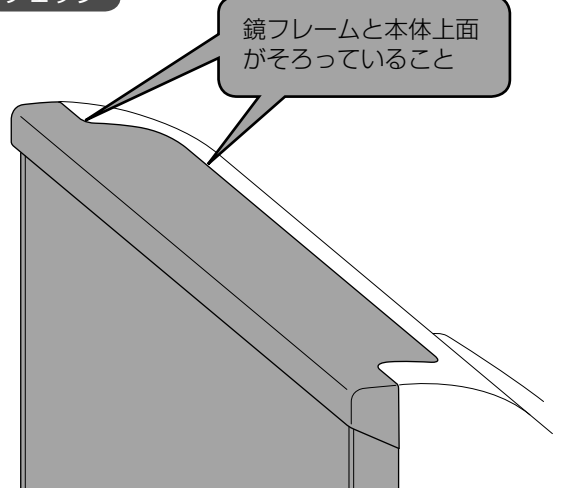
※勘合がきつい場合は、鏡フレーム下部を本体に押し付けながら下側にスライドし勘合させる。

※2

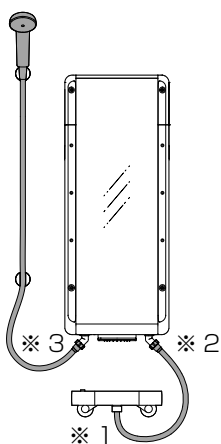


※鏡フレームが浮き下穴がズれる場合は、鏡フレームを本体側に押し下穴を合わせながら固定する。

チェック



6 接続ホース・シャワーホースの取付

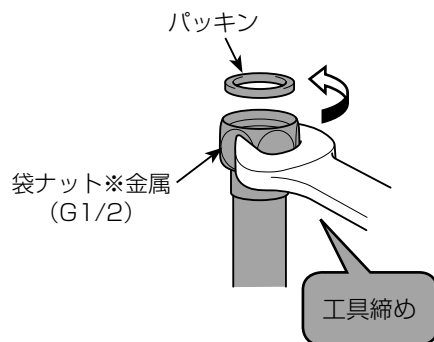


⚠ 注意

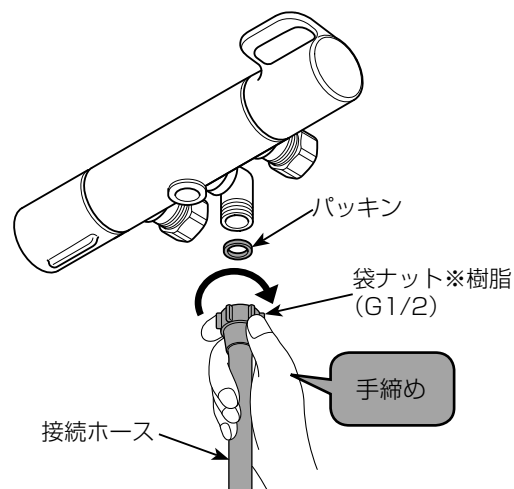
- 他社水栓に接続する場合、ねじ径が異なる場合があります。その場合は、変換アダプターを使用して取り付けること。
- パッキンを傷つけたり、ゴミかみさせないこと
※止水できなくなるため。
- 接続ホースのつなぎ込み位置を間違えないこと。
※間違えて接続した場合、ハンドシャワー・ボディシャワーの切り替えができなくなるため。

チェック

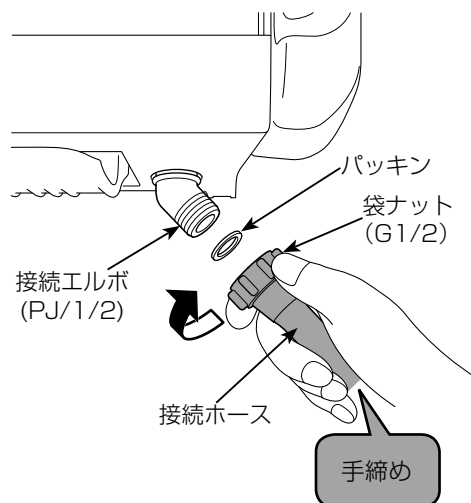
袋ナットが金属製のホースを使用する場合、工具を使用して取り付ける。



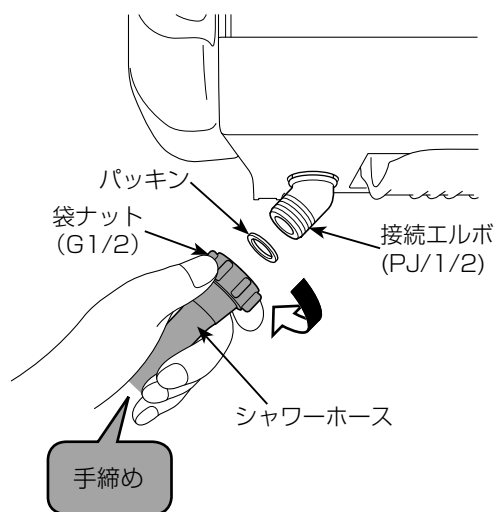
※1



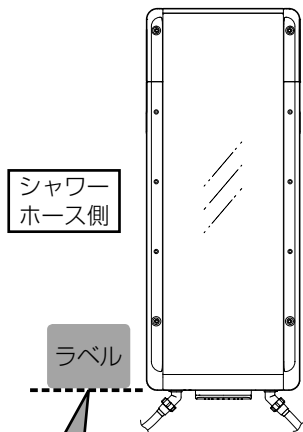
※2



※3



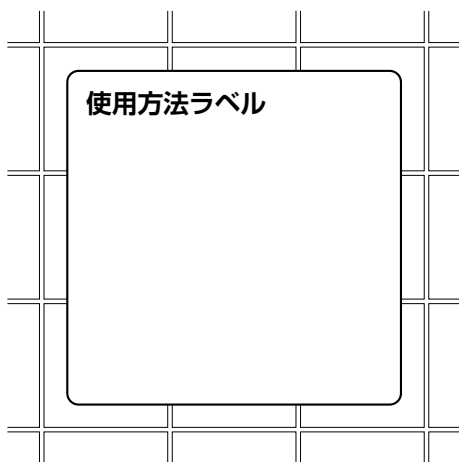
7 使用方法ラベルの張付け



器具等と干渉する場合は、お客様の見やすい位置に適時移動させて張る

チェック

- タイル面に張り付ける場合、端の部分は目地を避けて張り付ける。
※目地部分は接着力が弱く、ラベルがはがれやすいため。
- 取付説明書本編に、別途張り付け位置の指示がある場合は、本編の指示に従うこと。



7. 取付後の点検

下記項目を点検して取付けが正常に終了したことを確認してお客さまへ取扱説明書と共にお引渡しください。

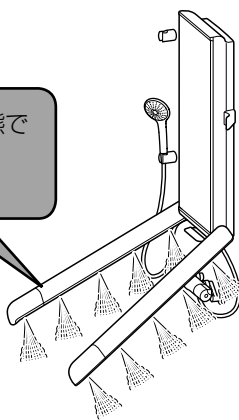
- ①ボディハグシャワー全体を目視し、傾き等異常が無いことを確認してください。
- ②アームや本体等外装部品をかるくゆすり、ガタつきがないか確認してください。

- ③システムバスルーム同時取付以外の場合
ハンドシャワー、ボディシャワーの順番で通水し、異常がないか確認してください。

※正常に切り替わらない場合、接続ホースとシャワーホースの接続が逆になっている可能性があります。

ポイント

アームを下げた状態で
通水確認を行う。
(水濡れ防止)



- ④浴室の掃除をお願いします。